

みずほCustomer Desk Report 2020/12/17号 (As of 2020/12/16)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	103.73 AUD/USD
TKY 9:00AM	103.64	1.2152	125.93	1.3443	0.7558
SYD-NY High	103.91	1.2212	126.33	1.3555	0.7578
SYD-NY Low	103.26	1.2125	125.73	1.3436	0.7539
NY 5:00 PM	103.45	1.2202	126.12	1.3511	0.7579
NY DOW	30,154.54	▲ 44.77	日本2年債	-0.13	1.00bp
NASDAQ	12,658.19	63.13	日本10年債	0.01	0.80bp
S&P	3,701.17	6.55	米国2年債	0.118	0.00bp
日経平均	26,757.40	69.56	米国5年債	0.368	0.16bp
TOPIX	1,786.83	4.78	米国10年債	0.919	0.83bp
シカゴ日経先物	26,790.00	▲ 5.00	独10年債	-0.5695	4.35bp
ロンドンFT	6,570.91	57.59	英10年債	0.2715	1.20bp
DAX	13,565.98	203.11	豪10年債	0.9650	▲0.40bp
ハンセン指数	26,460.29	253.00	USDJPY 1M Vol	6.14	▲0.07%
上海総合	3,366.98	▲ 0.25	USDJPY 3M Vol	6.49	▲0.02%
NY金	1,859.10	3.80	USDJPY 6M Vol	6.76	▲0.04%
WTI	47.82	0.20	USDJPY 1M 25RR	-0.80	Yen Call Over
CRB指数	163.858	0.84	EURJPY 3M Vol	6.88	▲0.05%
ドルインデックス	90.45	▲ 0.02	EURJPY 6M Vol	7.09	▲0.04%

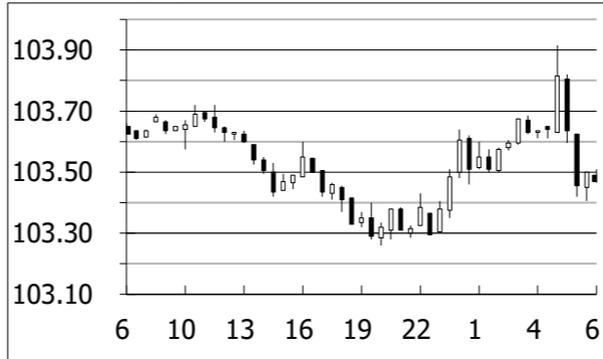
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月16日	17:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	12月 58.6/47.7/52.5	56.5/44.0/50.5
	18:00	欧 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	12月 55.5/47.3/49.8	53.0/42.0/45.7
	22:30	米 小売売上高速報(前月比)	11月 -1.1%	-0.3%
	23:45	米 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	12月 56.5/55.3/55.7	55.8/55.9/-
12月17日	04:00	米 FOMC	回復著しく進展するまで国債購入継続	
	04:00	米 FOMC政策金利	16-Dec 0.0%-0.25%	0.0%-0.25%
	04:30	米 パウエルFOMC議長 会見	インフレ押し上げは容易ではないだろう	

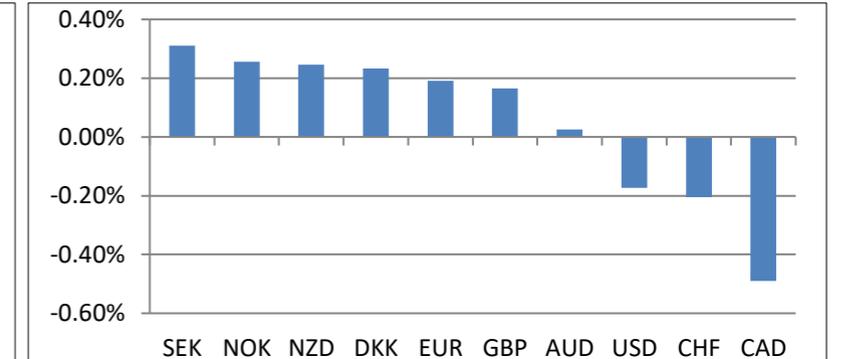
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月17日	09:30	豪 雇用者数変化/失業率	11月 40.0k/7.0%	178.8k/7.0%
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	11月 -0.3%/-0.3%	-0.3%/-0.3%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	12-Dec 815k	853k
	22:30	米 住宅着工件数	11月 1535k	1530k
	22:30	米 建設許可件数	11月 1560k	1544k
	22:30	米 フィラデルフィア連銀景況指数	12月 20.0	26.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.00-104.00	1.2140-1.2240	125.70-126.70

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は行って来いの展開となった。注目のFOMCではFF金利の誘導目標レンジを0-0.25%で据え置かれた。さらに、月額1200億ドル規模の国債購入プログラムについては「FOMCの目標である最大雇用と物価安定に向けて、一段と顕著な進展」が見られるまで継続すると表明。一部期待されたQEデュレーションの長期化などはなく、金利はややステイプニング、ドル買い戻しが入るとドル円は一時103.91まで上昇。ただし、パウエルFRB議長がFOMC後の会見でハト派姿勢を維持したことで再びドル売りとなり、ドル円は103.40近辺まで値を戻した。FOMCも通過し、年内の大きなイベントが終了したことで、本格的なクリスマス相場に突入すると予想する。ドル円の値動きは限定的となるとだろう。

**東京**  
東京時間のドル円は103.64レベルでオープン。本邦勢のドル買いにより、オープン後103.72まで上昇する場面は見られたものの、その後は続落。米追加経済対策の成立やイギリスとEUの貿易交渉進展に対する期待感を背景としたドル売りが目立ち、一時103.42まで下落。小幅に買い戻しが入ったが、結局103.55レベルで海外時間に渡った。

**ロンドン**  
本日ロンドン市場ドル円は値を下げた。103.55レベルにてオープン。アジア時間の流れを引き継ぎドル売り優勢。さらに、欧州株が堅調に推移した事でユーロやポンドが上昇し、押されたドル円は下落した。103.31レベルでNYへ渡った。

**ニューヨーク**  
海外市場のドル円は103円台後半でスタートし、株式市場の堅調推移や欧州通貨の買いにドル売りがサポートされたことから、一時103.26まで下落。11月9日安値(103.20)の手前ではいったんサポートされ、小幅反発後、103.31レベルでNYオープン。朝方は米11月小売売上高が予想を下回り、前回値も下方修正されたが、FOMCを控え様子見ムードが強かったためか、ドル円は反応薄。その後、持ち高調整のドル買いが進んだことから、103.60近辺まで上昇し、海外時間の下落分もほぼ戻した。午後2時発表のFOMCでは、予想通り政策金利の据え置きとなり、資産購入は構成やペースに変更なしと伝わったが、一部では資産購入の規模拡大が期待されていたためか、ドル買いで反応し、103.91まで急上昇。しかし、同時に上昇した米金利がすぐに反落したことからドル買いはすぐに失速。パウエルFRB議長がFOMC後の記者会見で「経済はかなりの期間の支援が必要」との見方を示し、「債券購入の拡大や残存期間のシフトは今後可能」と再表明し、ハト派色の強いコメントにドル売りが加速し、103.41まで下落。終盤は小幅値を戻し、103.45レベルでクロス。一方、海外市場のユーロは、1.21台半ばでスタート。フランス、ドイツ、ユーロ圏の12月PMIが軒並み予想を上回ったことが好感され、約2年半ぶりの1.22台乗せとなり、1.2122をつける。早朝は利益確定の売りに押され、1.2195レベルでNYオープン。朝方は持ち高調整の売りが進み、1.21台後半でじり安推移。FOMCの発表にドル買いで反応したことから1.2125まで安値を更新するが、リスク志向のドル売りは依然と根強く、パウエルFRB議長のハト派な発言もあいまって反発上昇し、1.2202レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山口・木村 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア		7	14